

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	日本建築史小委員会		主 査 名：溝口 正人 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：石田潤一郎
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本建築史研究成果の情報交換と研究の活性化 ・日本建築史研究者の相互批判と情報共有のための研究会の開催（関東、関西） ・文化庁補助による近代和風建築・近代化遺産調査の内容整理と総合化 ・日本建築史研究の成果の英語による発信。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 現在定員 14 名		
	主査：溝口正人（名古屋市立大学） 幹事：清水重敦（京都工繊大学） 委員：青柳憲昌（立命館大学）、赤澤真理（岩手県立大学）、梅津章子（文化庁）、海野聡（奈良文化財研究所）、大野敏（横浜国立大学）、金出ミチル（長岡造形大学）、是澤紀子（日本女子大学）、富島義幸（京都大学）、野村俊一（東北大学）、藤井恵介（東京大学）、麓和善（名古屋工業大学）、光井渉（東京芸術大学）		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2018 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無し	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 関西では近畿支部建築支部会研究会が組織され 2018 年度に「歴史的建造物の自然科学分析をめぐる学際研究の接点を探る」が開催された（3 月 9 日）。 2. 若手奨励特別研究委員会と連携しながら、日本建築史の発信のための枠組み造りについて情報交換を行った（9 月 5 日,12 月 16 日）。 3. 『日本建築史図集』翻訳に関する作業的な問題点を確認した（9 月 5 日）。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 関東方面での研究会の活性化が課題となっている。 2. 『日本建築史図集』翻訳の膨大な作業量をどのように処理するか。 3. 情報発信として計画した大会 PD の企画は準備不足のため次々年度以降となった。